



2024 祝 卒業



父 母 会 会 報

麻布大学

令和6年4月 発行

もくじ

- 02 父母会行事報告
各行事出席者及び組数
定期総会
- 03 地区懇談会
教員との個別面談
- 04 卒業生から…
卒業に際して
〈令和5年度卒業アルバム委員会委員長〉山本 皓太
初心を忘れずに
〈令和5年度獣医学科謝恩会実行委員長〉並河 咲希
支えてくださった全ての方へ
〈令和5年度動物応用科学科謝恩会実行委員長〉蓮沼 実知
温もり
〈令和5年度臨床検査技術学科謝恩会実行委員長〉安倍 葉月
変化と出会い
〈令和5年度食品生命科学科謝恩会実行委員長〉工藤 碧
大切な4年間
〈令和5年度環境科学科謝恩会実行委員長〉塙 雄翔
- 06 令和5年度定年退職者
令和5年度麻布大学学生表彰
(越智賞、日本獣医師会優等卒業生、日臨技学生表彰、
日本畜産学会優秀学生賞、学業成績優秀者、古泉賞)
- 07 令和6年度クラス担任
令和6年度麻布大学行事予定
- 08 令和6年度父母会行事予定(案)
編集後記・連絡事項

70

AZABU UNIVERSITY

定期総会

開催日	対象地区	開催地	会場名	出席数
6月10日(土)	全国	麻布大学	大教室	195人(153組)

地区懇談会

開催日	対象地区	開催地	会場名	出席数
8月27日(日)	北海道・東北・関東地区 (東京・神奈川を除く。)	宇都宮	ホテルマイステイズ宇都宮	47人(30組)
9月2日(土)	中国・四国・九州地区	福岡	ホテルクリオコート博多	20人(14組)
9月9日(土)	中部・近畿(中国・四国)地区	大阪	ホテルグランヴィア大阪	48人(36組)
合 計				115人(80組)

教員との個別面談

開催日	対象地区	開催地	面談対象	出席数
10月28日(土)	東京都・神奈川県	麻布大学	全学科の1・2年生の 御父母を対象	187人(135組)



令和5年度 麻布大学父母会定期総会開催

開催日時 令和5年6月10日(土)

10:00～11:30 研究室訪問(受付 8号館1階ロビー)

10:30～11:15 一般教養セミナー(大教室)

演題「動物に教えてもらう動物のこと」

講師 山本 誉士 先生

(獣医学部 動物応用科学科 野生動物学研究室 准教授)

11:30～12:40 定期総会(大教室)

12:50～14:50 懇親会(8号館7階 百周年記念ホール)



▲定期総会



▲懇親会

今年度は、総勢153組195人の御父母が参加し、無事に定期総会を終えることができました。

御来場いただいた御父母をはじめ、御協力いただきましたみなさまへ感謝申し上げます。

研究室訪問は、普段見ることのできない御子女の研究室での様子を御覧いただくと同時に、研究室の指導教員から、御子女の研究室活動等について説明を受けられました。

定期総会では、会長のあいさつ、父母会事業報告・事業計画、役員選出、大学側のあいさつ及び現況報告等がありました。

定期総会終了後、父母と教職員との懇親会が開かれ、普段なかなか接することの出来ない教員と御父母が御歓談されました。



▲一般教養セミナー

令和5年度 定期総会及び研究室訪問参加者数

定期総会	獣医学部	獣医学科	99人(73組)
	獣医学部	動物応用科学科	45人(36組)
	生命・環境科学部	臨床検査技術学科	23人(21組)
	生命・環境科学部	食品生命科学科	13人(10組)
	生命・環境科学部	環境科学科	15人(13組)
	合 計		195人(153組)

研究室訪問	獣医学部	獣医学科	59人(40組)
	獣医学部	動物応用科学科	24人(17組)
	生命・環境科学部	臨床検査技術学科	12人(10組)
	生命・環境科学部	食品生命科学科	7人(4組)
	生命・環境科学部	環境科学科	8人(6組)
	計		110人(77組)



令和5年度 麻布大学父母会地区懇談会

今年度の父母会地区懇談会は、宇都宮会場（8月27日）、福岡会場（9月2日）、大阪会場（9月9日）の3会場で実施され、各会場とも御父母とクラス担任による個別面談、御父母との懇談会が行われました。

大学側からは、川上学長、植竹獣医学部長、伊藤生命・環境科学部長、平学長補佐（学生支援担当）及び柳原事務局長から、大学及び各学部の現状に関して報告がありました。

また、昨年度に引き続き今年度も、櫻井 照士 氏（本学就職講座講師）によるキャリア・就職セミナー（演題：「就職活動の現状と社会が求める人材」～大学の支援と保護者の関わり方～）を個別面談と並行して行いました。

全体懇談会終了後には「御父母と教職員の懇親会」が行われ、クラス担任の先生方との触れ合いはもちろん、御父母同士も共通の話題を通して楽しく歓談され、名残惜しい中、盛会のうちに終了となりました。

懇親会に参加された御父母からは、「教員とお話できる機会は中々無いので、参加して良かったです。」「地方在住で大学に行く機会も少ないので、先生方と話しができて良かったです。」「御父母同士の情報交換ができるのは、とても心強く貴重な時間でした。」と地区懇談会開催に対して、感謝の言葉もいただきました。



▲個人面談



▲懇親会



▲全体懇談会

■令和5年度 地区懇談会出席者

学部	学科	宇都宮会場 8月27日(日) 出席者数	福岡会場 9月2日(土) 出席者数	大阪会場 9月9日(土) 出席者数
獣医学部	獣医学科	28人(17組)	17人(12組)	39人(30組)
獣医学部	動物応用科学科	11人(6組)	3人(2組)	7人(5組)
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	5人(4組)	0人(0組)	0人(0組)
生命・環境科学部	食品生命科学科	0人(0組)	0人(0組)	0人(0組)
生命・環境科学部	環境科学科	3人(3組)	0人(0組)	2人(1組)
合 計		47人(30組)	20人(14組)	48人(36組)

令和5年度 麻布大学父母会教員との個別面談

大学祭開催期間中である10月28日（土）に、麻布大学にて、東京都・神奈川県在住の各学科1・2年次学生の御父母を対象に、教員との個別面談を実施いたしました。

合計135組187人の御父母が参加され、御子女の大学における生活状況や学業成績状況等の把握と今後について、御子女が所属する学科のクラス担任と情報交換を行い、好評のうちに終了いたしました。

参加された御父母からは、「学校の雰囲気が良く、清潔で素敵な環境で安心しました。」

「大学祭の日に合わせた面談でしたので、学校の雰囲気が伝わって良かったです。」「まだ一年生ですが就職先についての相談も聞いてくださり、子どもに話すべき内容を親なりにまとめることができました。」と教員との個別面談開催に対しての言葉もいただきました。



■令和5年度 教員との個別面談出席者

学 部	学科・学年	出席数	合計
獣医学部	獣医学科1年次	25人 (19組)	42人 (30組)
	獣医学科2年次	17人 (11組)	
獣医学部	動物応用科学科1年次	44人 (31組)	55人 (39組)
	動物応用科学科2年次	11人 (8組)	
生命・環境科学部	臨床検査技術学科1年次	25人 (18組)	38人 (26組)
	臨床検査技術学科2年次	13人 (8組)	
生命・環境科学部	食品生命科学科1年次	9人 (7組)	20人 (16組)
	食品生命科学科2年次	11人 (9組)	
生命・環境科学部	環境科学科1年次	16人 (13組)	32人 (24組)
	環境科学科2年次	16人 (11組)	
合 計			187人 (135組)

卒業生から…



卒業に際して

山本 皓太 V18049

令和5年度 卒業アルバム委員会委員長
獣医学部 獣医学科 6年次

国家試験に向けて勉強をしながら、ふとこの6年間を思い返す瞬間があります。国家試験は1年生から5年生の間に学んだことの集大成であり、習った当時のことをよく思い出します。写真部のみんなで夜な夜な写真を撮りに行ったこと、苦労しながらもみんな協力して突破した定期試験、先輩に

教えてもらいながら研究をした日々。思えば大学生活はいつも人とのかわりの中がありました。

この大学で学んだことは、人はひとりで生きていくことはできず、常にたくさんの人に支えられ、かわりの中で生きていくのだ、ということです。大学に入学するまでの18年間は周りの大人に支えられることを当然のように思っていました。しかし、大学生活ではそれぞれが協力しあうことが必要とされ、自分もまた人のため

にできることを考えることが多くありました。

来年から社会人として働く中で、周りに人がいてくれることのありがたさをかみしめ、自分も人のために動けるよう精進していきます。



初心を忘れずに

並河 咲希 V18141

令和5年度 獣医学科謝恩会実行委員長
獣医学部 獣医学科 6年次

高校2年生の夏頃、当時から心臓が好きだった私は進路選択をする中で麻布大学の小動物外科学研究室に出会いました。絶対に合格して憧れの研究室で心臓について学びたいと、懸命に勉強した大学受験から早6年。大学の講義内容は専門性の高いものが多く、獣医師の責務を理解することができまし

た。3年次からの研究室活動では、附属病院の診療補助に参加させて頂く機会が数多くありました。尊敬する先生方に出会い、疾患のことはもちろんですが獣医師としてのあるべき姿やチーム医療の重要性を学ぶことができました。憧れの研究室での活動は私にとって大学生活の中で一番の宝物です。卒業後は小動物臨床に従事します。「獣医師冥利につきる」と言える医療の提供ができるよう、初心を忘れずに精進します。

麻布大学で過ごした6年間は私にとってかけがえのない時間になりました。この場をお借りして先生方、大学関係者皆様、友人、そして6年間私を支えてくれた母に心より感謝申し上げます。



支えてくださった全ての方へ

蓮沼 実知 A20084

令和5年度 動物応用科学科謝恩会実行委員長
獣医学部 動物応用科学科 4年次

私の大学4年間は、多くの方の支えがあり成り立っています。新型コロナウイルスの影響で入学当初から変則的な授業を強いられ、友人や教員の方々と会う機会が少なく寂しさを感じていました。そのような生活が続くにつれ、自分の進路を考えるうえで向いていること、やりたいこと含め、行き詰った

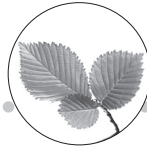
時期がありました。しかしこの不安な状況の中でも、尊敬する先生のもとで仲間と切磋琢磨し互いに高め合うことができ、今では夢に一步近づくことができました。

私は、春から教員として働きます。今まで多くの人に支えられここまでこれた私も、今度は教育者として恥じない行動をし、生徒が夢や目標を持って探求できるよう支えていきたいです。

4年間の学生生活は妥協なく遊び・学ぶことができた素晴らしい期間とな

りました。この場をお借りして先生、学校関係者皆様、友人、そして両親、私の大学生活を支えてくださった全ての方に心より感謝申し上げます。





温もり

安倍 葉月 M20078

令和5年度 臨床検査技術学科謝恩会実行委員長
生命・環境科学部 臨床検査技術学科 4年次

大学1年生の生活は、コロナウィルスとの戦いから始まりました。1年次の授業のほとんどはコロナウィルスの影響下でオンライン授業となり、待ち望んだ大学生活も、思うようなスタートを切れない学生がほとんどだったと感じます。授業がスタートしてから、多くの学生は面識がないまま授業に参

加し、新たな人間関係を気づく時間も少ないものでした。それでも私が大学生活で感じたのは、「人の温もり」でした、多くの友人に囲まれる大学生活、他愛のない会話、その一つ一つが貴重な時間、人の温かさを感じる時間たちでした。このかけがえのない時間に気づけたのも、苦しい時間を乗り越えたからこそだと私は思います。そんな機会をいただいたのも、ひとえに麻布大学の先生方、そして両親のおかげだと感じます。この機会をいただいたこと

に心より感謝申し上げます。ここで得た経験をばねにより羽ばたけるよう、これからも感謝の気持ちを忘れずに、進んでいきたいと思います。



変化と出会い

工藤 碧 F20011

令和5年度 食品生命科学科謝恩会実行委員長
生命・環境科学部 食品生命科学科 4年次

私達の大学生活は新型コロナウイルスからの影響で全てオンラインで始まりました。新しい環境の中で期待や不安を胸に臨む入学式も出来ませんでした。同級生の顔も分からないまま1年生の前期を過ごしました。後期になって規制が緩和されサークル活動などが少しずつ再開され始め、それを機に初

めて大学での友人が出来ました。大学の授業も徐々に対面授業が多くなり、やっと普通の大学生活を送れるようになりました。このような豊かな生活を送れるようになったのは麻布大学の関係者の皆様や先生方のご尽力のおかげでございます。私は麻布大学で4年間を通して沢山の人に出会い、色々な経験を得ることが出来ました。慣れない環境の中でもサポートをして下さったり、多くの人に支えていただきました。4月から社会人の一員となり働く上で

麻布大学で学んだことを生かしていきたいと思っております。改めまして麻布大学の関係者の皆様、先生方、仲良くしてくれた友人、そして両親に心より感謝申し上げます。



大切な4年間

埜 雄翔 E20065

令和5年度 環境科学科謝恩会実行委員長
生命・環境科学部 環境科学科 4年次

入学当初からオンライン授業が主流となった中で、自宅時間を利用した資格取得や趣味などに打ち込むことができました。また、本格的に対面授業が解禁となった3年次においては、今まで求められていた実習のレベルとは違い、分析や検査などのような精密さを必要とするものでした。この経験から

研究室配属後においては、実習で培ってきたスキルを取り得ながら自身の研究活動に邁進していくことができました。また、大学生活で築き上げてきたスキルや知識を、今後は社会の場で活かしていきたいと思っています。

最後に、4年間という学生生活の中で支えてくれた友人や両親に感謝いたします。

また、コロナ禍において入学時から慣れない授業様式や人間関係に隔たりができてしまうような環境下の中、学

生生活をより良くしようと尽力なさってくださった先生方、学校関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。



令和5年度定年退職者

令和6年3月をもって、次の教職員の方々が退職されました。

授業及び学生生活において、学生達への御指導御鞭撻を賜りました教職員の方々が、この度定年を迎えられ退職されることは、本当に名残り惜しく思います。

これまでの様々な御功労に敬意を表し、感謝申し上げますと共に、今後の御活躍と御健勝をお祈りいたします。

今まで本当にお世話になりました。ありがとうございました。



食品栄養学研究室
食品生命科学科
守口 徹 教授



生化学研究室
臨床検査技術学科
村山 洋准教授

免疫学研究室
臨床検査技術学科
宮武 昌一郎 教授

学生表彰

令和5年度

受賞された方におかれましては、受賞おめでとうございます。
今後の更なる御活躍を期待しております。

越智賞

獣医学科	V18025	山口 優季	臨床検査技術学科	M20038	小平 晴香
動物応用科学科	A20011	小原 舞優	食品生命科学科	F20030	多田 光里
			環境科学科	E20041	松下 彩加

日本獣医師会優等卒業生

獣医学科	V18025	山口 優季
------	--------	-------

日臨技学生表彰

臨床検査技術学科	M20038	小平 晴香
----------	--------	-------

日本畜産学会優秀学生賞

動物応用科学科	A20005	松本 藍
---------	--------	------

学業成績優秀者

獣医学科

V18003	高畑 礼
V18013	泉部 瑠菜
V18059	吉澤 瑛輔
V18119	長田 百加

動物応用科学科

A20001	上永 汐音
A20022	渡邊 彩実
A20035	河西 冬花
A20038	吉村 愛琉

臨床検査技術学科

M20009	細谷 晴人
M20044	細野 香帆
M20068	日笠山 胡雪
M20091	中野 月穂

食品生命科学科

F20007	吉田 陽香
F20046	伊丹 颯
F20067	竹内 萌々花

環境科学科

E20012	石本 彩華
E20021	佐藤 剣心
E20067	茂木 在

古泉賞

獣医学科	V18063	水垣 ひなの	食品生命科学科	F20007	吉田 陽香
動物応用科学科	A20110	丸山 華	食品生命科学科	F20029	寺田 未彩
臨床検査技術学科	M20004	希代 葉	環境科学科	E20041	松下 彩加

令和6年度クラス担任

獣医学部

年次	担当学科	氏 名	研究室等
1	獣 医 学 科	教 授 中 村 紳一朗	実験動物学
	獣 医 学 科	准教授 村 上 裕 信	伝染病学
	獣 医 学 科	講 師 梶 典 幸	薬理学
	獣医保健看護学科	教 授 栗 林 尚 志	動物基礎看護学
	獣医保健看護学科	講 師 小野沢 栄 里	獣医臨床看護学
	獣医保健看護学科	講 師 久 世 明 香	獣医臨床看護学
	動物応用科学科	准教授 山 本 誉 士	野生動物学
	動物応用科学科	講 師 大 我 政 敏	動物工学
2	動物応用科学科	教 授 勝 俣 昌 也	獣医学科栄養学
	獣 医 学 科	教 授 山 下 匡	生化学
	獣 医 学 科	准教授 福 山 朋 季	薬理学
	獣 医 学 科	講 師 新 井 佐知子	産業動物内科学
	獣 医 学 科	准教授 岡 本 まり子	感染免疫学
	動物応用科学科	教 授 大 木 茂	動物資源経済学
	動物応用科学科	講 師 寺 川 純 平	比較毒性学
	動物応用科学科	教 授 石 井 康 夫	語学・人文学
3	動物応用科学科	教 授 河 合 一 洋	獣医学科獣医衛生学
	獣 医 学 科	教 授 川 本 恵 子	感染免疫学
	獣 医 学 科	講 師 大 石 元 治	解剖学第一
	獣 医 学 科	助 教 風 間 啓	産業動物内科学
	動物応用科学科	教 授 田 中 和 明	動物工学
	動物応用科学科	教 授 茂 木 一 孝	伴侶動物学
	獣 医 学 科	教 授 平 健 介	寄生虫学
	獣 医 学 科	准教授 野 口 倫 子	臨床繁殖学
4	獣 医 学 科	講 師 相 原 尚 之	病理学
	動物応用科学科	教 授 柏 崎 直 巳	動物繁殖学
	動物応用科学科	准教授 水野谷 航	食品科学
5	獣 医 学 科	教 授 長 井 誠	伝染病学
	獣 医 学 科	講 師 松 井 久 実	生理学第一
	獣 医 学 科	助 教 高 橋 広 樹	小動物臨床
6	獣 医 学 科	准教授 市 原 伸 恒	解剖学第一
	獣 医 学 科	講 師 井 上 真 紀	生理学第二
	獣 医 学 科	講 師 藤 野 寛	微生物学

生命・環境科学部

年次	担当学科	氏 名	研究室等
1	臨床検査技術学科	准教授 曾 川 一 幸	生化学
	臨床検査技術学科	准教授 高 梨 正 勝	病理学
	食品生命科学科	教 授 石 原 淳 子	食のデータサイエンス
	食品生命科学科	講 師 リンチ ジョナサン	国際コミュニケーション
	環 境 科 学 科	教 授 大河内 由美子	水環境学
2	環 境 科 学 科	准教授 片 平 浩 孝	環境生物学
	臨床検査技術学科	教 授 松 下 暢 子	衛生学
	臨床検査技術学科	准教授 小野澤 裕 也	生理学
	食品生命科学科	准教授 西 脇 洋 一	数理・データサイエンス
	食品生命科学科	講 師 小手森 綾 香	食のデータサイエンス
3	環 境 科 学 科	准教授 村 山 史 世	地域環境政策
	環 境 科 学 科	助 教 新 田 梢	フィールド科学
	臨床検査技術学科	准教授 石 崎 直 人	微生物学
	臨床検査技術学科	講 師 小 山 雄 一	病理学
	食品生命科学科	教 授 大 田 ゆかり	食品微生物学
4	食品生命科学科	講 師 山 本 純 平	食品栄養学
	環 境 科 学 科	教 授 関 本 征 史	環境衛生学
	環 境 科 学 科	助 教 坂 西 梓 里	フィールド科学
	臨床検査技術学科	教 授 本 田 晃 子	血液学
	臨床検査技術学科	准教授 松 井 清 彦	衛生学
5	食品生命科学科	教 授 武 田 守	食品生理学
	食品生命科学科	准教授 小 林 直 樹	食品安全科学
	環 境 科 学 科	教 授 遠 藤 治	環境衛生学
	環 境 科 学 科	准教授 中 野 和 彦	環境分析学

※令和6年4月1日現在

令和6年度 麻布大学行事予定

学年始め及び前期始め	4月 1日(月)	学園創立記念日	9月10日(火)
在学者健康診断	4月 3日(水)～5日(金)	前期成績発表日	9月24日(火)
在学者・編入学者ガイダンス	4月 5日(金)	前期終わり	9月29日(日)
入学式	4月 6日(土)	後期始め	9月30日(月)
入学者オリエンテーション	4月 6日(土)、8日(月)～9日(火)	後期授業開始日	9月30日(月)
大学院入学者オリエンテーション	4月 8日(月)	休日における授業実施日	10月14日(月)、11月4日(月)
大学院在学者ガイダンス	4月 8日(月)	大学祭	10月26日(土)～27日(日)
入学者健康診断 (大学院入学者を含む。)	4月 8日(月)	後期授業一時終了日	12月25日(水)
前期授業開始日	4月10日(水)	冬期休業期間	12月26日(木)～1月8日(水)
休日の授業実施に伴う休業日	4月30日(火)、5月1日(水)～2日(木)	後期授業再開日	1月 9日(木)
休日における授業実施日	5月 6日(月)、7月15日(月)	後期補講日	1月21日(火)
前期補講日	7月24日(水)	後期定期試験期間	1月22日(水)～24日(金)、 27日(月)～28日(火)
前期定期試験期間	7月25日(木)～26日(金)、 29日(月)～31日(水)	後期追再試験期間	2月12日(水)～14日(金)、 17日(月)～18日(火)
夏期休業期間	8月 1日(木)～9月29日(日)	卒業式・修了式	3月15日(土)
前期追再試験期間	8月20日(火)～23日(金)、 26日(月)	春期休業期間	3月25日(火)～31日(月)
休日の授業実施に伴う休業日	9月 9日(月)	後期終わり及び学年終わり	3月31日(月)

※学科・学年により日程が異なる場合があります。
※上記の日程等は変更になる場合があります。

■令和6年度 麻布大学父母会行事予定(案)

1. 理事会・代議員会・定期総会

予定日	事 項	内 容
5月11日(土)	5月理事会	定期総会開催等について：15時00分～16時30分
6月8日(土)	代議員会	定期総会開催等について：10時30分～11時15分
	定期総会	予算案及び活動方針等の承認 研究室訪問：10時00分～11時30分 セミナー：10時30分～11時15分 (令和5(2023)年度は、一般教養セミナーを実施) 総 会：11時30分～12時30分 教員と父母との懇親会：12時30分～14時30分
12月14日(土)	12月理事会	令和6年度中間報告及び令和7年度活動計画案等 ：15時00分～16時30分

2. 地区懇談会(2会場)

予定日	対象地区	開催地	会場名
9月1日(日)	中部・近畿・中国・四国・ 九州地区 (対象人数 274+129+35+30+79=547)	名古屋市 (名古屋駅周辺)	名古屋会場 (名鉄グランドホテル)
9月7日(土)	北海道・東北・関東地区 (※東京・神奈川を除く。) (対象人数 11+57+312=380)	宇都宮市 (宇都宮駅周辺)	宇都宮会場 (ホテルマイステイズ宇都宮)

個人面談(クラス担任等と1人15～20分程度)：9時30分～11時30分
 セミナー(令和5(2023)年度は、キャリア・就職セミナーを実施)：10時00分～11時00分
 全体懇談会(大学関係者等あいさつ)：11時30分～12時30分
 懇親会(クラス担任紹介含む)：12時30分～14時30分

3. 教員との個別面談

予定日	内 容	開催地	対 象
10月26日(土)	関東地区(東京・神奈川のみ対象)	麻布大学	全学科の1・2年生の 御父母を対象

●住所等の変更について

御父母の住所、電話番号等に変更がありましたらお手数ですが、学生支援課窓口にある「変更届」を御子女より提出いただきますよう、よろしくお願いいたします。

●弔慰・見舞について

学生又は御父母に御不幸があった場合、弔慰又は見舞金をお支払いできる場合がありますので、学生支援課まで連絡いただきますよう、よろしくお願いいたします。

●編 集 後 記

父母会会員の皆様方におかれましては、御健勝でお過ごしのことと御推察申し上げます。さて、父母会会報第70号の発刊に当たりましては、卒業アルバム委員会委員長 山本 皓太さん(V18049)、獣医学科謝恩会実行委員会委員長 並河 咲希さん(V18141)、動物応用科学科謝恩会実行委員会委員長 蓮沼 実知さん(A20084)、臨床検査技術学科謝恩会実行委員会委員長 安倍 葉月さん(M20078)、食品生命科学科謝恩会実行委員会委員長 工藤 碧さん(F20011)、環境科学科謝恩会実行委員会委員長 塙 雄翔さん(E20065)から御執筆いただきました。御協力誠にありがとうございました。また、学生表彰受賞者の皆さま、おめでとうございます。今後の御活躍を期待しております。これからも、この会報が父母会の情報誌として、会員の皆様方に提供できるよう編集を心がけていきたいと思っておりますので、御指導御鞭撻のほどよろしくお願いいたします。